

令和3年9月10日

日本気管食道学会
日本気管食道学会認定専門医研修施設
施設担当者各位

「深頸部膿瘍後嚥下障害の全国調査」ご協力をお願い

謹啓 秋晴の候、先生におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年度、当科で申請いたしました「深頸部膿瘍後嚥下障害の全国調査」が日本気管食道学会の研究課題として承認されました。深頸部膿瘍は、進行すると降下性縦隔炎や敗血症などをきたし、降下性縦隔炎を合併した場合の致死率は40%と致命的となるため、急性期の治療に重点がおかれることが多いかと存じます。しかし急性期治療後に約20%の症例で嚥下障害をきたすとの報告があります。そのリハビリテーションや嚥下機能改善手術の効果について少数報告はあるものの、まだ解明されていない点も多く、深頸部膿瘍症例について深頸部膿瘍治療後の嚥下機能障害の全国調査を計画しました。また、嚥下障害を併発した場合は該当症例の入院期間や摂食嚥下機能の予後、嚥下リハビリテーションと嚥下機能改善手術の効果についても検討いたします。

本調査では、深頸部膿瘍の統計と個別データについてアンケート調査を実施させていただきます。

つきまして、別紙「アンケート回答方法」をご参照の上、調査用紙①「深頸部膿瘍後嚥下障害の全国調査 症例数調査」、および嚥下障害を併発した症例については調査用紙②「深頸部膿瘍後嚥下障害の全国調査 症例ごとの詳細情報」にもご記入をお願いいたします。ご多忙の折、大変恐縮ではございますが、2021年12月末日までに同封の封筒でご返送いただきますようお願い申し上げます。

本研究では当施設での倫理審査を経ております。当施設での倫理審査では、特に調査用紙②（症例ごとの詳細情報）に関しては個人情報を含んでおり施設ごとの個別の倫理申請が必要であると判断いただいております。大変お手数ですが、御施設の規則に即して倫理申請の手続きをお願いいたします。（倫理審査費用などについてはご相談ください。）調査用紙①「症例数調査」のみ該当しご協力いただける場合は、倫理審査の可否については施設間で対応が異なると思われますので、御施設の倫理審査委員会にご相談いただければと思います。

謹白

【添付書類】

1. 岐阜大学研究計画書
2. 情報公開文書（岐阜大学）
3. 日本気管食道科学会審査判定書
4. 岐阜大学 医学研究等倫理審査結果通知書
5. 岐阜大学 医学研究等実施許可通知書
6. アンケート回答方法
7. 調査用紙①（症例数調査） 調査用紙②（症例ごとの詳細調査）
8. 他の研究機関への既存資料・情報の提供に関する記録
9. 調査用紙②対応表

【添付資料のダウンロード】

添付資料はいずれも、岐阜大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉科学分野のホームページよりダウンロード可能となっております。倫理審査等で必要な際はご利用ください。

なお、準備の都合により 9 月 10 日よりダウンロード可能となります。ご迷惑をおかけし申し訳ありません。

<http://www.med.gifu-u.ac.jp/otolaryngology/news/index.html#20210910>

【研究実施体制】

研究代表者：小川 武則

岐阜大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉科学分野 教授

E-mail : ogawa@gifu-u.ac.jp

〒501-1194 岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1

岐阜大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉科学分野

Tel : 058-230-6279

Tel : 058-230-6000（夜間・休日）

研究事務局：飯沼 亮太

岐阜大学大学院医学系研究科 耳鼻咽喉科学分野

E-mail : shinkeibunouyou@gmail.com